

平成 23 年度いちのみやリバーサイドフェスティバル事業報告書

- 【日 時】 平成 23 年 5 月 3 日（火）～5 月 5 日（木）
- 【場 所】 一宮市 138 タワーパーク
- 【来場者数】 名（事務局発表）
- 【内 容】 ゴールデンウィークの 5 月 3 日～5 日までの 3 日間「いちのみやリバーサイドフェスティバル」が行われました。期間中は好天が続き、暑い中を大勢の来場客で賑わいました。今年度のイベントテーマは「I LOVE いちのみや」で市制 90 周年を記念して実施されました。中学生のブラスバンドや郷土芸能の披露、キャラクターショーなどのイベントや、衝突実験車による時速 5Km の衝突体験、地震体験車での体験、スモークハウスを利用した煙体験、消防の放水体験などが実施されました。そのほかにも盛り沢山で連日大変な賑わいでした。
- 木曽地域としては、今回も郡内出店者の御協力により木曽路の大物産展を実施しました。昨年に引き続き木曽地方事務所にもご協力いただき、地方事務所長をはじめ多くの方にご協力をいただきました。おもに木曽牛コロケや、飲むヨーグルト等の物販を中心に木曽の PR をしていただきました。また各町村の方にも参加協力をいただき、木工体験、水を通しての森林整備の PR、観光 PR を実施しました。
- 木工体験として木曽ひのきの箸づくり体験を行いました。1 回の製作に時間がかかることから、1 日当たり 50 人ほどを予定していましたが、イベント終了時間を過ぎても人が途切れないなど大変賑わいました。（木工体験者：175 名）
- また木工製品の販売を行い、木曽に行かなければ買えないような木曽ヒノキ等の木工芸品を中心に展開を図りました。寿司桶や箸類を中心に好評でしたが、今年は震災の影響で節電意識が高いようで、おひつがほしいという方が数名いらっしゃいました。次の物販の際にはそういったものも取りそろえていく必要性を感じました。（物販売上：56,250 円）
- 普段何気なく飲んでいる水の大切さ、森林整備の必要性を PR するために、ウォーターコインゲームを実施しました。1 回 30 円のゲーム料をいただき実施しましたが行列ができる盛況ぶりでした。ゲームを楽しみながら水の特徴・大切さを実感いただき、良い水には森林整備が欠かせないことを PR しました。（基金積立額：23,512 円。約 700 名実施）また出店者から御嶽山の伏流水の提供をいただき、無料試飲を実施しました。木曽のおいしい水を PR し、また観光 PR をすることで木曽の良さを感じていただくことができました。

（木工体験）



（ウォーターコインゲーム）



(霧しな)



(木曾ごへー本舗)



(アルプス物産)



(筒井木工所)



(ボン・プラン)



(おんたけ有機)



(木曾地方事務所)

